

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が7波、8波と続きましたが、ワクチン接種等の感染対策が進み行動制限や水際対策が緩和されたことからイベントや観光地も賑わいが戻り、海外からの観光客も増え経済に活気が戻ってきました。一方、ウクライナとロシアの戦争による穀物輸出の停滞、コロナによる物流価格の上昇、中国需要の拡大、円安等により食品価格が度々値上がりし国民生活は苦しい状況が続きました。また、高病原性鳥インフルエンザが県内でも初めて4例の発生となり、国内でも総飼養羽数の約5%に当たる1700万羽が殺処分される過去最大の発生数となり、卵価の大幅な値上がりに繋がる事態も生じました。

畜産経営は、費用の多くを占める配合飼料や乾牧草価格が以前の2倍に高騰した他、光熱費や肥料等の資材価格も上昇、一方、副産物である初生子牛は暴落して経営の存続が危惧される状態となりました。

こうした中、県を始め国、市町村、農業団体から飼料高騰への各種支援措置が講じられたが、経営を好転させるまでには至りませんでした。

協会としては、経営を継続するための経営診断を通じた借入資金の見直しや融資制度の活用指導を行った他、生産コストの削減や生産性の向上に繋がる各種補助事業による施設や機械整備の導入、繁殖雌牛の増頭に取り組むとともに肥育牛や子牛の価格安定制度の適切な運用、省力化のためのDX技術の普及定着、和牛入門講座による担い手の育成、女性リーダー育成のための研修会など畜産経営の安定と持続的な発展に向けた支援活動を行いました。

また、自給飼料を増産するため、コントラクター組織と連携し稲WC Sや飼料用とうもろこしの増産と利用及び県域での流通体制を推進しました。

衛生対策では、牛ウイルス性下痢の清浄化、牛異常産等各種ワクチンの接種推進による家畜伝染性疾病の発生・まん延防止や海外悪性伝染病の発生時のリスク抑制のための家畜防疫互助基金の造成に取り組みました。また、農場HACCP認証の取得推進、厳正で公正な生乳検査を通じて安全で安心な畜産物の供給に努めました。

終始ご指導とご協力をいただいた農林水産省及び中央団体、そして岡山県及び県内関係機関の皆様に心からお礼を申し上げます。

各事業の実施内容は次のとおりです。

1 総会及び役員会

(1) 総会

期 日	場 所	内 容
定時総会 令和4年6月14日	ピュアリテイまきび 「橘」	議 事 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について 第2号議案 令和4年度事業計画及び予算について 第3号議案 令和4年度会費の額及び徴収方法について 第4号議案 令和4年度借入金最高限度額について 第5号議案 令和4年度役員報酬の支給額について 第6号議案 役員の一部改選について 第7号議案 その他 報 告 事 項 公益目的支出計画実施報告について

(2) 理事会

期 日	場 所	内 容
令和4年5月27日	岡山県農業会館 7 階 岡山県農業協同組合 中央会 7 階研修室	議 事 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について 第2号議案 令和4年度事業計画及び予算並びに関連項目につ いて 第3号議案 公益目的支出計画実施報告について 第4号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部 改正について 第5号議案 役員の一部改選について 第6号議案 定時総会提出議案について 第7号議案 その他
令和4年6月14日	ピュアリテイまきび 「飛翔」	議 事 第1号議案 役員報酬の支給について 第2号議案 その他
令和4年11月11日	岡山県農業会館 2 階 全国農業協同組合連 合会岡山県本部 第1会議室	報 告 事 項 代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議 事 第1号議案 令和4年度予算の補正について 第2号議案 令和4年度上期事業実施状況と下期の見通しにつ いて 第3号議案 その他

期 日	場 所	内 容
令和5年3月17日	岡山県農業会館 2階 全国農業協同組合連 合会岡山県本部 第1会議室	報 告 事 項 令和4年度事業実績及び決算の見込みについて 令和4年度債権運用状況報告について 代表理事の職務執行状況報告について 業務執行理事の職務執行状況報告について 議 事 第1号議案 令和5年度事業計画及び予算について 第2号議案 給与規定及び給与支給細則の一部改正について 第3号議案 令和5年度執行体制について 第4号議案 役員推薦委員の選任について 第5号議案 その他

(3) 監事会

期 日	場 所	内 容
令和4年5月25日	岡山県農業会館 5階 畜産協会役員室	令和3年度事業報告、計算書類及びその附属明細書、公益目的支出計画実施報告

2 事業実績

(1) 事業概要

本協会は、畜産経営の安定的発展と畜産の振興に寄与することを目的に以下の5種類の事業を実施した。

- ① 畜産経営安定のための経営技術支援、調査研究、情報提供、技術知識の普及啓発
- ② 一般消費者等への畜産及び畜産物の各種情報提供、知識の普及・啓発
- ③ 畜産経営の安定のための各種補てん金、補給金の交付
- ④ 家畜の健康保持及び畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理に関する支援
- ⑤ 生乳取引の公正化のための検査及び生乳品質向上の指導

(2) 公益目的事業

1) 公益目的事業 1

畜産経営の安定と、安全な畜産物の安定供給に資するための事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
自衛防疫活動強化 対策支援事業 (岡山県畜産協会)	・家畜伝染病の発生を予防するため、牛異常産ワクチンの接種を支援した。また、農家等の農場HACCP認証取得支援等を実施し、自衛防疫活動の促進と生産性の向上を図った。 ・家畜疾病の予防や暑熱対策を行うため、石灰乳塗布機を畜産農家に貸し出した。	① 牛異常産ワクチン接種支援 9,592 頭 ② 農場HACCP認証審査支援 2 農場 ③ 石灰乳塗布機貸出 4 農場

2) 公益目的事業 2

酪農収益の改善に資するため、生乳品質向上の指導を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳品質向上対策 事業 (岡山県畜産協会)	・粗飼料自給率の高い農家について、土壌検査を実施するなど、生乳成分や衛生品質の向上を支援した。	乳質改善指導支援のための検査実施 土壌検査の実施 11戸 29点

(3) 継続事業

1) 継続事業 1

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を次のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産経営技術高度化促進事業 (岡山県)	令和2年度、県が策定した「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画」の目標達成に向け、畜産経営の経営診断を通じた現状分析や、関係機関と連携した効果的な支援・指導活動を行った。また、関係機関とともに効果的な指導体制を構築し、各種セミナーや研修会等を実施するなど、畜産経営における担い手などの育成を進めた。さらに、和牛繁殖経営においては、他産業等からの担い手の確保のための和牛入門講座及びフォローアップ研修としての和牛未来塾を開催した。 岡山和牛資質向上対策協議会活動では、継続的な岡山和牛推奨子牛の展示等により生産者に取組等の浸透を図り、本年度の適合率は18.2%であった。 県産飼料の生産・利用拡大のため、耕畜連携の推進や稲WC Sの利用技術研修を行った。	酪農経営支援チーム 県チーム推進会議等 5回 和牛子牛資質向上対策協議会 幹事会等 15回 セミナー開催 3回 個別支援 31件 個別経営調査 28件 自給飼料に係る研修会・検討会 3回 和牛入門講座 研修会 2回・牧場体験 実習7名×2回 和牛未来塾 2回 HPアクセス数 1,235,040ページ
畜産特別資金推進指導事業 (中央畜産会)	畜産特別資金借受者の経営体質強化のため、定期的な経営状況の把握を行うとともに、経営分析に基づく指導及び濃密指導を実施し、融資機関に対する指導を行った。	協議会開催 4回 濃密指導 2戸 現地指導等 2戸 セミナー 1回
岡山県畜産ヘルパー事業円滑化対策事業 (岡山県、市町村関係団体)	県、関係団体で造成した基金を活用して、以下のヘルパー活動に対し助成した。 ①ヘルパー派遣活動 ②酪農経営安定化支援ヘルパー事業で取り組む事業	酪農ヘルパー派遣旅費の一部に対する支援 安定化支援ヘルパー事業に係る自己負担部分の一部に対する支援
酪農経営安定化支援ヘルパー事業 (農畜産業振興機構)	ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保に資するため、以下の事業を実施した。 ①酪農の担い手となる酪農ヘルパー人材育成支援 - 酪農ヘルパー実践研修手当支援 - 酪農ヘルパー資質向上を図るための研修会の開催 - 臨時ヘルパー実践研修者の住宅・通勤手当支援 - 臨時ヘルパー出役経費支援 ②傷病時利用の円滑化 - 互助制度に基づく酪農ヘルパー料金の負担軽減 ③利用組合の強化 - 推進協議会の開催 - 広域利用等による出役調整 - 傷害補償保険及び財物賠償保険の加入促進 - 防疫計画作成及び防疫機器等の整備	臨時出役 1回1,000円×525回/年/人 傷病利用 延べ47人 ヘルパー研修会 1回 総距離30km以上の派遣に対する燃料費支援 3,333千円 保険料に対する補助 703千円 防疫資材導入補助 164千円 防疫対策会議開催 1回

事業名	事業概要	実施内容
肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構)	中核的担い手の育成と導入、保留による増頭推進及び肉用牛ヘルパー活動支援等による肉用牛生産基盤の安定化を図るため、各地域において肉用牛生産振興への取組を行うＪＡ及び肉用牛ヘルパー組合等に対し、奨励金及び補助金を交付した。 ①中核的担い手育成増頭推進（増頭奨励金） ②肉用牛ヘルパー推進（活動経費補助）	①中核増頭推進 42頭、4,180千円 内訳：100千円×41頭＝4,100千円、80千円×1頭＝80千円 ②ヘルパー組合補助 2組合（新見市和牛改良組合、津山肉用牛ヘルパー組合）、3,053千円
広報事業	「岡山畜産便り」を編集・発行し、県内外の指導者、畜産経営者に情報提供するとともに、中央畜産会が発行する畜産コンサルタント誌等畜産関係優良図書を斡旋した。	畜産便り 年6回発行 1回 720部
畜産振興対策事業 (岡山県畜産協会)	全国和牛能力共進会及び各種共進会並びに畜産関連イベントに職員の派遣や、賞品の提供等の支援を行った。	全国和牛能力共進会 及び枝肉共進会等 24名 賞品の交付 11件
地域畜産生産性向上対策事業 (岡山県畜産協会)	肉用牛経営の活性化を図るため、関係機関との連携のもと、生産性向上の地域勉強会や先進事例の調査・分析を行い、肉用牛経営の収益性の向上と生産基盤の強化に取り組んだ。	研修会開催 2回 参加者 延べ30名

2) 継続事業2

畜産経営の安定に資するため、各種補填金、補給金を交付する事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要				実施内容	
肉用牛肥育経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)	肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産基盤の拡大に資するため、あらかじめ個体登録され、出荷した肉用牛に対し、その月毎の粗収益が生産費を下回った場合、その差額の9割について、交付金を交付するとともに、事業の推進指導を行った。 なお、交付金額に4分の1を乗じた額を生産者積立金より支払うものとする。				個体登録頭数	
	○生産者負担金単価 (単位：円／頭)				・肉専用種 3,493頭	
			肉専用種	交雑種	乳用種	・交雑種 9,611頭
	令和4年 4月～ 令和5年 3月	県	420	420	420	・乳用種 1,967頭
		生産者	10,580	18,580	18,580	計 15,061頭
		合計	11,000	19,000	19,000	補填金交付実績 (令和4年1月～令和4年 12月交付分)
	○交付金単価 (単位：円／頭)				肉専用種 711頭	
			肉専用種	交雑種	乳用種	15,120,888円
	令和4年	1月	0.0	0.0	50,295.6	交雑種 5,303頭
		2月	0.0	12,519.9	51,054.3	112,949,445円
		3月	0.0	0.0	50,246.1	乳用種 2,160頭
		4月	0.0	0.0	39,903.3	95,582,476円
5月		0.0	0.0	42,264.9	合 計 8,174頭	
6月		0.0	30,939.3	43,892.1	223,652,809円	
7月		0.0	34,163.1	38,371.5		
8月		25,027.2	43,261.2	44,452.8		
9月		15,688.1	21,557.7	40,458.6		
10月		23,765.4	10,291.5	43,010.1		
11月		0.0	1,765.8	36,964.8		
12月		0.0	0.0	49,166.1		

事業名	事業概要	実施内容															
肉用子牛生産者補給金制度 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産の安定を図るため、肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象に、その差額を生産者補給金として交付する制度で、第2、3四半期において、乳用種に対し交付を行った。なお、その他の品種については、価格が堅調に推移したことから、補給金の交付はなかった。 <table><tr><td></td><td>黒毛和種</td><td>その他の肉専用種</td><td>交雑種</td><td>乳用種</td></tr><tr><td>保証基準価格</td><td>541,000</td><td>320,000</td><td>274,000</td><td>164,000</td></tr><tr><td>合理化目標価格</td><td>429,000</td><td>253,000</td><td>216,000</td><td>110,000</td></tr></table> (業務対象期間 5年間 令和2～6年度)		黒毛和種	その他の肉専用種	交雑種	乳用種	保証基準価格	541,000	320,000	274,000	164,000	合理化目標価格	429,000	253,000	216,000	110,000	個体登録頭数 (令和4年1月～12月) ・黒毛和種 4,094頭 ・交雑種 3,002頭 ・乳用種 176頭 ・その他の肉専用種 0頭 計 7,272頭 生産者補給金交付実績 (令和4年7月～9月) ・乳用種 565,500円 @14,500×39頭 (令和4年10月～12月) ・乳用種 1,647,000円 @36,600×45頭
	黒毛和種	その他の肉専用種	交雑種	乳用種													
保証基準価格	541,000	320,000	274,000	164,000													
合理化目標価格	429,000	253,000	216,000	110,000													
肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産者補給金制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、J A等事務委託先の協力を得て、生産者補給金交付契約及び個体登録、負担金の受入・基金造成・補給金の交付、契約肉用牛の販売・保留確認、家畜市場データの収集・整理、事務委託先及び契約生産者に係る現地調査・指導を実施した。	事業委託先 農協等 6団体															
指定協会運営体制支援事業 (農畜産業振興機構)	肉用子牛生産者補給金制度の運営体制の強化を図るための推進活動に努めた。																
黒毛和種新規契約奨励事業 (岡山県畜産協会)	肉用子牛生産者補給金制度への加入促進を図るため、今業務対象年間において、新規に個体登録する契約生産者に対し、奨励金を交付(生産者負担金相当額(400円)を助成)した。	令和4年度新規個体登録 生産者 50名 交付頭数 789頭 交付額 316千円															
肉豚価格安定事業 (岡山県・全農) 肉豚経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)	養豚経営の安定を図るため、農畜産業振興機構や生産者等が基金を造成し、平均収益が平均生産コスト(四半期毎に算定)を下回った場合に、その差額の9割について補填金を交付するものであるが、堅調な枝肉価格の推移により、今年度の補填金の交付はなかった。 負担金の額 機構：生産者等＝1,200円：400円 (事業実施期間 3年間 令和3年度～令和5年度)	事業登録頭数 60,562頭															

3) 継続事業3

畜産物の生産衛生に係る技術指導及び自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理に関する支援を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
総合食料対策事業 (岡山県)	家畜衛生対策の推進を図るため、地域推進会議、農家の防疫対策実態調査、農家・畜産関係者等への広報、ワクチンの接種推進を行った。	地域推進会議 5回 防疫対策実態調査 819戸 広報部数 1,000部 研修会 1回
特定疾病自衛防疫 推進事業 (岡山県)	県の補助によりワクチン接種を組織的に実施し、鶏ニューカッスル病の発生予防を支援した。	実施羽数 鶏 14,419千羽
家畜生産農場衛生 対策事業 (農林水産省)	・ヨーネ病対策 ヨーネ病発生農場の患畜と疫学的に関連が高い牛のとう汰は該当牛がいなかった。 ・牛伝染性リンパ腫対策 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため、発生農場等での陽性牛を確認するための検査を実施したが、感染源となる高リスク牛のとう汰は希望がなかった。 ・牛ウイルス性下痢（BVD）対策 感染拡大を図るため、P I 牛（ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛）を摘発する検査を行うとともに、P I 牛のとう汰に対して助成した。 ・農場飼養衛生管理強化対策 飼養衛生管理を向上させるため、指導チェック表を作成し、指定獣医師等による農場指導を行った。 ・伝染病発生防止の推進 家畜の伝染性疾病の発生、流行防止を推進するため牛異常産ワクチンの接種を推進した。	検討会議等 4回 牛伝染性リンパ腫検査 1,560頭 P I 牛摘発検査 622頭 P I 牛のとう汰 1頭 農場巡回指導 170戸×2回 牛異常産ワクチン接種 9,669頭
家畜防疫互助基金 支援事業 (中央畜産会)	口蹄疫、豚熱等越境性動物疾病の発生に備え、生産者の損失を互助補償するための基金造成事業。 今期実施期間（令和3～5年度）の2年目。事業参加者の変更手続き、家畜疾病の発生を未然に防止するために、飼養衛生管理基準の遵守の徹底を図るパンフレットを事業参加者へ配布した。	加入戸数（令和4年度末） 牛 336戸 乳用牛 146戸 肉用牛 190戸 豚 9戸 農家積立金 10,817千円
牛疾病検査円滑 化推進対策事業 (農林水産省)	BSEの浸潤状況を把握し、防疫体制を検証するため、協議会を開催するとともに、事業対象農家に輸送費、処理費を補助した。（対象牛96ヵ月齢以上および48ヵ月齢以上の起立不能牛等）	協議会 1回 死亡牛処理見込頭数 111頭

(4) その他事業

1) その他事業 1

畜産経営の安定に資するため、経営技術支援、調査、情報提供、技術知識の普及啓発事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要
畜産経営技術指導事業 (地方競馬全国協会)	本協会が取り組んでいる、①国際化に対応しうる競争力の高い担い手の育成・確保に取り組む業務、②消費者に対する地域畜産の理解の増進業務、③馬事畜産振興普及啓発業務、④畜産を核とした地域の活性化業務に対し、活動費の不足分に対して補助を得た。

2) その他事業 2

畜産経営の安定に資するための各種補填金、補給金を交付する事業を補完するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
マル緊特別事業 (岡山県畜産協会)	肉用牛肥育経営安定交付金制度を補完し、円滑に事業を推進するため、事務委託先に対する支援や調査・指導等を実施した。	事務委託先 4ヵ所
肉用子牛価格安定対策特別事業 (岡山県畜産協会)	肉用子牛生産者補給金制度を補完し、登録業務の円滑な実施に努めた。	個体登録頭数 7,272頭

3) その他事業 3

自衛防疫の推進並びに死亡獣畜の適正処理を円滑に実施するための事業を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
予防注射事業 (岡山県畜産協会)	家畜の伝染性疾患の発生を防止するため、各種予防注射を計画的に実施した。 ＜主なワクチン接種実績＞ 牛異常産3種混合 999頭 牛異常産4種混合 8,593頭 牛IBR5種混合 2,772頭 牛IBR6種混合 4,064頭 鶏(ND、NB) 14,419千羽	実施頭羽数 牛 31,524頭 鶏 14,419千羽
岡山県家畜衛生管理センター維持管理業務 (岡山県)	死亡した牛のBSE検査のため岡山県の設置した集荷採材保管施設の維持管理業務を受託し、円滑な運営を行った。	検査対象牛見込頭数 109頭

4) その他事業4

生乳取引の公正化並びに生乳品質向上のための検査を以下のとおり実施した。

事業名	事業概要	実施内容
生乳検査受託事業 生乳格付検査事業 (中国生乳販連)	中国生乳販売農業協同組合連合会と畜産協会による業務委託に基づき、生乳の格付検査を行い、生乳の公正かつ円滑な取引と品質向上に努めた。 (格付受託検査) ・検査回数：3回／月（上旬・中旬・下旬） ・乳業者：オハヨー乳業(株)他中国地区内乳業者 ・検査乳量：15,709トン程度／月 ・検査料：0.05円／kg	総検査乳量 188,513トン
生乳成分検査事業 (中国生乳販連)	中国生乳販売農業協同組合連合会等からの受託により、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査及び牛群検定農家個体別乳成分検査を行い、乳牛の飼育管理や乳質の向上に努めた。 (検査項目) 脂肪率・蛋白質・乳糖・無脂乳固形分率・全乳固形分率・体細胞数・細菌数 (検査料) ・取引検査：0.1円／kg（農家生産量） (農家別分配・細菌検査) ・牛群検定検査：50円／件 ・指導検査：100円／件 ・組合員外検査：1,500円／件	農家別分配・細菌検査 292,244トン 牛群検定検査 192,666件 指導検査 41,722件 組合員外検査 368件

5) その他事業のその他

本協会の設立目的を達成するため、以下事業を実施した。

事業名	事業概要	実施内容
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター機械導入事業） (中央畜産会)	地域の畜産関係者が有機的に連携・結集して地域一帯となって畜産の収益性の向上を図る畜産クラスターの仕組みを活用し、畜産クラスター計画を策定して、生産コストの低減、畜産物の高付加価値化、飼料自給率の向上等に取り組む畜産クラスター協議会の取り組みに対し、公益社団法人中央畜産会が支援を行う業務の一部を県窓口団体として実施し、事業の推進、参加申請書の取りまとめ業務等を行った。	導入要望調査 1回 R4年度割当額 協議会数 9 機械件数 43 補助金額 206,849千円
畜産クラスター推進全国実態調査事業（中央畜産会）	畜産クラスターに係る取り組みを推進するため、先進的な経営体を対象に経営調査を実施した。	調査実施農家 酪農家 5戸 肉用牛繁殖農家 5戸

事業名	事業概要	実施内容
近代化リース調査事業 (近代化リース協会)	(公財) 畜産近代化リース協会が農家に貸し付けた、機械施設の確認と適正な利用推進巡回指導を行うとともに、新規開拓のため、研修会等において利用拡大を図った。	確認指導 36戸 50物件 新規開拓PR 1回
環境負荷軽減型持続的生産支援事業 (中国四国農政局)	おかやま酪農協組合員以外の酪農家を対象に奨励金を交付するための要件である環境負荷軽減の取組内容の確認等を行った。	事業参加者 2名 奨励金交付額 525千円
畜産経営体生産性向上対策事業 (中央畜産会)	畜産農家の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援した。	推進会議の開催 1回 現地調査 10回 対象経営体 5件
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 (中央畜産会)	酪農家における労働負担軽減に資するため省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援した。	補助金額 13,956,550円 畜産応援会議の運営支援
家族経営における畜産DX推進事業 (中央畜産会)	前年度は畜産業の経営持続を図るため、省力化等に資する先進技術(DX技術)機械を導入した農家の経営及び機械調査・分析等を実施し、県域の農家におけるDX技術普及定着の可能性を検討した。 本分析結果に基づき、本年度はDX技術導入が生産性向上や経営改善に繋がると想定される経営体への普及推進を図った。	調査対象農家 1戸 普及推進農家 2戸 現地等調査 11回 打合・検討会 7回 普及啓発 1回
未利用資源活用対策事業 (中央畜産会)	飼料用国産稲わらの利用状況、収集方法及び利用推進に向けた課題等を調査分析するため、収集者及び利用者に対して稲わら利用実態調査を実施した。	利用実態調査 収集・販売業者 1件 利用農家 6件 利用情報交換会 1回
生産基盤拡大加速化事業<肉用牛> (全国肉用牛振興基金協会)	牛肉の国内需要増加への対応と輸出の一層の拡大を目指すため、2取組主体等に対し事業推進を図り、育種価要件等を満たす繁殖雌牛を増頭した生産者に対し、飼養規模に応じて、1頭当たり246千円又は175千円を交付した。	補助金交付頭数及び金額 120頭、28,242千円 (内訳) @246千円×102頭=25,092千円、@175千円×18頭=3,150千円

事業名	事業概要	実施内容	
優良肉用子牛生産 推進緊急対策事業 (農畜産業振興機構)	肉用子牛価格が補給金制度の保証基準価格を上回る場合であっても、生産コストの急激な上昇に伴い経営環境が悪化していることから、年内に経営改善に取り組む生産者に対して、月別に肉用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に、販売頭数に応じた奨励金を交付した。	奨励金交付実績 (内訳)	
	対象期間：令和4年6月1日～12月31日	乳用種	
		8月	@3万円×1頭＝3万円
		10月	@3万円×2頭＝6万円
和子牛生産者臨時 経営支援事業 (全国肉用牛振興 基金協会) 【新規】	生産コストの上昇に加え和子牛価格の変動が大きいことから、臨時的なセーフティネットの強化措置として、四半期の平均価格が発動基準を下回った場合に、合理化目標を設定した生産者に対し、販売頭数に応じて支援金（平均価格と発動基準価格との差額の3/4）を交付するため、事務委託先の協力のもと参加申込書の取りまとめを行った。	事務委託先	2ヵ所
	対象期間：令和5年1月1日～3月31日	参加申込数	284戸
馬伝染性疾病防疫 推進対策事業 (中央畜産会)	競走馬以外の乗用馬等に馬インフルエンザワクチンの接種を推進した。	地域推進会議	2回
		実施頭数	117頭
育成馬等予防接種 推進事業 (中央畜産会)	競馬場入厩前の育成馬に馬インフルエンザ、日本脳炎、ゲタウイルス感染症、破傷風の予防注射を推進して、競走馬資源の涵養と競走馬生産の安定的な維持発展に役立てた。	1歳馬	延べ 3頭
		2歳馬	延べ 60頭

事業名	事業概要	実施内容
地域自衛防疫推進事業 (中央畜産会)	岡山県等との共催で、高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫等に係る防疫演習を実施し、防護服等を提供した。 また、中国地域の自衛防疫活動について推進した。	推進会議 1回 防疫演習 4回 地域自衛防疫活動推進会議 1回
地域農場HACCP認証支援事業 (中央畜産会)	農場HACCPの認証取得6農場のフォローアップ指導を行うとともに、5農場において構築を進めた。また、農場HACCPの構築や運用への理解を深めるため、農場HACCP認証制度研修会を開催した 他、普及を図るため運用上の成果、課題等の普及推進協議会を開催した。	研修会 1回 普及推進協議会 1回 フォローアップ 6農場 (酪農3、肉用牛2、採卵鶏1) 構築指導 4農場 (肉用牛 2、採卵鶏 2) 認証申請 1農場 (採卵鶏) ※構築指導4農場の内数
牛せき柱適正管理等推進事業 (日本畜産副産物協会)	牛せき柱の適正な管理を実施した食肉事業者に対して適正管理促進費を交付した。	食肉事業者 8 業者 対象頭数 15,290 頭
家畜伝染性疾病清浄化支援事業 (岡山県)	農場の飼育管理状況の調査、牛ウイルス性下痢(BVD)の防疫対策を推進するため啓発指導を行うことにより、BVDに関する知識を普及啓発し、適切な飼育管理や検査、ワクチン接種を指導した。また、検査により摘発されたPI牛(ウイルスを持続して保有・排出し、感染源となる牛)のとう汰に助成金を交付した。	農場調査 40 農場 PI牛とう汰 1頭
生産技術情報提供事業 (中央畜産会)	家畜の生産技術情報に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及びその分析結果に基づく助言指導を実施した。	酪農経営 3戸 和牛繁殖経営 2戸